

# Weekly Report

2020～2021年度



令和3年3月23日(火)  
第2024回例会



作者の言葉  
我が国は、長い歴史と文化を誇る国である。しかし、近年は少子高齢化が進み、社会が直面している課題は数多くある。我々ロータリーは、社会の発展と平和の維持のために、一人ひとりが力を尽くす必要がある。今年度のテーマは「持続可能な社会の実現」である。我々が目指すのは、持続可能な社会の実現である。我々が目指すのは、持続可能な社会の実現である。我々が目指すのは、持続可能な社会の実現である。

◆ 会長/赤本 昌広 ◆ 幹事/平岡 勉 ◆ 会報/玉井 智春

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第2024回例会記録 令和3年3月23日(火) 26/44回

<点鐘>

赤本会長

以下、会長報告です。

<ソング> それでこそロータリー

<お客様紹介>

第3グループガバナー補佐 川崎高津RC 三富末雄様

→「昨年10月6日のガバナー公式訪問以来5か月ぶりにお邪魔しました。緊急事態宣言中ほどのクラブも休会で、皆さんで集まることができ



なかったのが寂しい思いをしたのではないかと思います。今回このようなオンラインと会場と併用での例会開催は第3グループでは初めてだと思います。他のクラブの模範となるいい例になります。地区でも様々な行事があります。主な行事である地区協、地区大会も事前に収録したものを配信することとなりました。今年度このような形での運営により事業費の支出が少なくなっています。その予算でこども食堂等へ支援を行うという案があります。詳しく決まりましたらご報告いたしますのでご協力をお願いします」。

<会長報告>

赤本会長

- 2023-24年度ガバナーノミニ告知・確定宣言  
神奈川ロータリークラブ 樋口 明氏
- オンラインRLI (ロータリーリーダーシップ研究会)パートⅢ開催の案内 4/18(日) 9:00～17:00  
研修方法:オンラインでの少人数でのディスカッション形式
- 2021-22年度地区副委員長委嘱の件  
地区ローターアクト委員会  
副委員長 親松 裕明会員
- 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり) 2021第4回実行委員会開催について  
4/8(木)18:30～ 麻生区役所4F
- 横浜市営地下鉄3号線延伸早期完成期成同盟会より会員加盟継続と会費納入のお願い
- 第9回麻生区観光写真コンクールについて  
今回は表彰式はなし。入賞者には賞状及び副賞を郵送します。
- ガバナー月信に大矢会員が掲載されておりますのでご一読下さい。

先に、理事会報告です。

- 横浜市営地下鉄3号線延伸早期完成期成同盟会の年会費の件
  - 次年度の人事の件
  - 3月30日の例会内容について
- 以上、全て承認可決されました。

<幹事報告>

平岡幹事

\* 第5回会長・幹事会開催の案内

4/14(水) 18:00～ ホテルモリノ新百合丘7F

<ニコニコ委員会>

嶋委員

第2590地区第3グループガバナー補佐 川崎高津RC 三富末雄様→「しばらくぶりに訪問しました。お世話になります。よろしく申し上げます」。当ク

第2025回	3月30日	会員卓話 委員会報告 * 予定
第2026回	4月6日	会長エレクトセミナー報告 * 予定
第2027回	4月13日	クラブ協議会 * 予定

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

ラブより、赤本会長→「例会運営に関して少々迷走しておりますが、寛容の心で見守っていただければ幸いです」。平岡幹事→「皆様お久し振りで。リモートも試行錯誤ですが、宜しくお願いします」。大矢会員→「明日24日から三越本店で春の院展が始まります」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、福家会員、井上久会員、菊池会員、小島会員、中島眞一会員、中村会員、岡村会員、親松会員、佐々岡会員、鈴木文夫会員、鈴木岳人会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、渡邊会員、山口会員、屋敷会員、結城会員、嶋会員。

<出席委員会>

嶋委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第2024回	46	46	0		100%
第2023回	46	46	0		100%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	23件	27,000円	743件	800,000円
財団	0件	0円	8件	136,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	105,000円
米山	0件	0円	19件	290,000円

本日のプログラム

<会員卓話>

岡村会員

私は昭和42年に東京練馬区の西大泉に生まれ大学卒業までそこで暮らしました。平成3年4月に横浜銀行に入行しそれ以来横浜市内に住んでいます。最初は自由が丘支店、その後本部のリーディングルームでリーダー研修生として1年勉強しましたが、その時阪神大震災、地下鉄サリン事件があったことを覚えています。2012年5月に百合ヶ丘支店の支店長となりました。その後、登戸支店、新百合ヶ丘支店の支店長となりました。この地域に縁があるようです。



横浜銀行は昨年12月16日に設立100周年を迎えました。横浜銀行は地域ごとに将来ビジョンを掲げてその実現に向けて当行が取り組んでいくべき施策を「はまぎん10年後プロジェクト」としてまとめています。横浜銀行では神奈川県内を7つの地域に分けた営業体制となっております。こちらは川崎地域と

なります。地域ごとに定めている計画に合わせてお手伝いをしていきたい、或いは地域のため取引先のために何か一緒にやっというのが「はまぎん10年後プロジェクト」です。銀行は2年、3年で担当が変わってしまうのですが、「はまぎん10年後プロジェクト」を定めることによって人が変わっても横浜銀行が何をやっているかをしっかり根付かせて人が変わっても考え方が変わらないようにしていこうという指針です。

例としては、湯河原の富士屋旅館の経営再建や大磯のみかんを使って相模女子大の研究グループと一緒にアロマオイルを商品化しました。藤沢の農家レストランでは国家戦略特区の認定を取り古民家を活用し地産のお野菜を使ったレストランを作るなどのお手伝いをしています。川崎地域では川崎市ともディスカッションを重ね、スタートアップ企業や研究開発の支援を積極的に行っています。地域の成長に対応した持続可能な産業振興、街づくりに向けた施策を作っというとしています。

ものづくり、街づくりに横浜銀行も何かお手伝いできないかと思っております。ものづくりにおいては東工大、慶應義塾大学と連携協定を結び研究しているテーマを商品化していく、或いは企業側でお願いしたい研究テーマのマッチングを企画しています。融資以外の資金調達としてはまぎん文化振興財団からベンチャー企業向けの助成金があります。土地利用転換では市の希望でもある雇用を創出する企業の誘致など横浜銀行のネットワークを使ってマッチングを行っています。街づくりでは地域のため、地主さんの希望に沿ったお手伝いをしていきたいと考えています。地域や川崎市と一緒にこの地域の産業振興と街づくりのために横浜銀行も関わっしていきたいと考えています。



<点鐘>

赤本会長